

平成30年度事業報告書

個別事業の内容について

I〔公益目的事業〕

1. 手話通訳者派遣事業（公1）

手話をコミュニケーションの手段とする聴覚障害者の社会生活上の意思疎通を円滑にするために手話通訳者及び手話講師の派遣事業に取り組んだ。

（1）手話通訳者派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、手話通訳を必要とする団体（行政・民間企業等）の申し込みを受け付け、岡山県登録手話通訳者に打診し、内定した手話通訳者を派遣した。岡山県手話通訳者登録試験に合格し手話通訳者として岡山県に登録された者を派遣登録しており、本年度は7名を登録した。

平成30年度末現在104名を登録している。

事業実施のための財源 手話通訳依頼者からの手話通訳料を充当した。

① 派遣件数（合計240件）

4月…12件	5月…16件	6月…15件	7月…9件
8月…15件	9月…16件	10月…31件	11月…43件
12月…21件	1月…20件	2月…25件	3月…17件

② 地区別派遣件数（合計240件）

赤磐…8件	岡山…129件	加賀…31件	鏡野町…3件	勝田…1件
久米南…1件	倉敷…27件	里庄町…1件	瀬戸内…16件	高梁…3件
玉野…1件	津山…1件	新見…2件	早島町…1件	備前…2件
真庭…1件	美咲町…8件	美作…2件	矢掛町…1件	県外…1件

③ 内容別派遣件数（合計240件）

生命・健康…0件	警察・裁判…0件	生活・生計…0件	行政…0件
学校・教育…29件	職業・労働…76件	文化・スポーツ…16件	
会議・集会…103件	聴障協活動…5件	その他…11件	

（2）手話講師派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、団体（行政・民間企業等）からの申し込みを受け付け、開催される手話講座や手話講義に、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が認めた手話講師を派遣し、聴覚障害者や手話に関する理解を広げると共に、聴覚障害者の福祉向上と社会参加の促進を図った。講師登録研修を受けた者を毎年登録しており、平成30年度末現在の登録人数は54名である。

事業実施のための財源 手話講師派遣依頼者からの手話講師料を充当した。

[手話講師派遣実績]

依頼者	派遣日数	派遣人数	備考
浅口市社会福祉協議会	18日	3人	
専門学校岡山ビューティモード	16日	2人	
朝日医療大学校	27日	2人	
岡山市福祉交流プラザさいでん	22日	2人	
	1日	2人	南乙多見老人会共催
専門学校ビーマックス	28日	3人	
新見市社会福祉協議会	30日	8人	
就実高等学校	21日	2人	
総社市	18日	2人	
国立吉備高原職業リハビリテーションセンター	20日	1人	
専門学校岡山ビジネスカレッジ	31日	2人	1年医療秘書
	16日	2人	2年医療秘書
	32日	2人	診療情報管理士
	8日	2人	介護福祉
瀬戸内市	18日	2人	
	4日	2人	
岡山県立鴨方高等学校	1日	12人	
高梁市	19日	5人	
清心女子高等学校	1日	8人	
岡山学芸館高等学校	7日	3人	
井原市	8日	3人	
岡山県立津山東高等学校	2日	3人	
岡山放送株式会社	2日	2人	
三菱自動車工業株式会社	12日	2人	
株式会社中国銀行	1日	1人	
里庄町社会福祉協議会	18日	3人	
岡山高等歯科衛生専門学校	8日	2人	
岡山県警察本部	2日	2人	
岡山地方検察庁	1日	2人	
公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会	1日	2人	
井原市社会福祉協議会	18日	4人	
倉敷市人件推進室玉島池畝会館	2日	2人	
特定非営利活動法人まちづくり推進機構岡山	1日	1人	
瀬戸南高校	14日	2人	

神戸中央区聴力言語障害者福祉協会	1日	1人	
高梁市	1日	1人	
合計	430日	100名	

2. 機関紙一般購読事業（公2）

聴覚障害者の情報不足を補うために、聴覚障害者福祉に関わる情報を提供するとともに、社会に対して聴覚障害者についての理解と啓発を促すため、次の事業を実施した。

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より共同募金配分金を受けて機関紙一般購読事業を実施した。機関紙は岡山県内の聴覚障害者、賛助会員、手話サークル会員などの手話関係者、購読を希望する一般の方々及び関係機関・団体等へ月1回定期的に発行した。（発行部数533部・年間購読料2,000円）

なお、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の会員には無料配布した。機関紙では、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の活動報告だけでなく、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会や関係団体等の行事の案内や、災害情報や障害者に関する法律等の情報、全国の聴覚障害に関する様々な情報発信を行った。

事業実施のための財源 「社会福祉法人岡山県共同募金会」より受けている「共同募金配分金」と機関紙購読料及び研修会を充当した。

3. 聴覚障害者のパソコン利用促進事業（公3）

聴覚障害者にパソコン利用に対するサポートや指導を行い、ITに関する知識を高め、社会への聴覚障害者参加の一層の促進を図るために、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」を受託し、「聴覚障害者のパソコン利用促進事業」を実施していたが、平成28年度から委託が終了したため、平成30年度は事業を休止した。

（1）パソコンボランティア養成・派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコンボランティア養成・派遣事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、受託が得られなくなったため、事業を休止した。

事業実施のための財源 公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当していたが、平成28年度より委託が終了したため、平成30年度は事業を休止した。

(2) パソコン利用促進事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコン利用促進事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、委託が終了したため、平成30年度は事業を休止した。

事業実施のための財源 公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当していたが、平成28年度より委託が終了したため、平成30年度は事業を休止した。

4. 福祉まつり事業（公4）

聴覚障害者、手話関係者、一般県民が交流を深め、聴覚障害者に対する正しい理解を広めること及び、聴覚障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的として次の事業を実施した。

「県民ふれあい手話まつり」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、岡山県より「岡山県障害児（者）社会参加促進事業費補助金」の助成を受けて、岡山市で「県民ふれあい手話まつり」を開催した。

この事業は各支部（岡山支部・倉敷支部・玉野支部・東備支部・笠岡支部・浅口支部・井原支部・美作支部）が持ち回りで順番に実施しており、平成30年度は岡山支部が実施した。（主催は公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会）

手話まつりの対象者は聴覚障害者だけでなく、地域の人を含め誰でも参加することができることとし、入場料や参加費は無料で行った。

手話まつりは岡山県下の聴覚障害者、手話サークル会員等の関係者及び地域の一般の方々一堂に会し、講演会等によって聴覚障害者に関わる諸問題について学び、お互いの交流を深め、広げていくことができた。開催場所は岡山市の建部町文化センター（公共施設）を利用した。参加人数は266名であった。平成30年度に実施された「県民ふれあい手話まつり」は以下の通りである。

平成30年10月21日（日）、岡山市建部町において、「第34回県民ふれあい手話まつり」を開催した。

午前11時から開会式典を行い、その後、エンターテインメント大会として手話朗読、手話歌、手話劇が披露された。

協会の機関紙やホームページなどを通して広く一般に呼びかけ、当日266名が参加。聴覚障害者、手話サークル会員などの関係者のほか、岡山市内の地域の方々も来場され、地域交流にふさわしい場となり、地域の一般の方々に聴覚障害者についての理解を広める良い機会となった。

事業実施のための財源 岡山県障害児（者）社会促進事業費補助金の助成金等を充当した。

5. 研修会事業（公5）

聴覚障害者自身の社会参加のための啓発又、聴覚障害者の福利厚生の実現を図るために、研修会事業を実施した。

平成28年度より新事業「ともろう・はうす」事業を開始した。

（1）ろう高齢者の集い事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より共同募金配分金を受けてろう高齢者の集い事業を実施した。

岡山県内のろう高齢者（高齢聴覚障害者）を中心に情報交換や意見交換、生活防衛のための知識習得等を行い、孤独になりがちなろう高齢者に仲間と交流する場を提供することで、ろう高齢者が充実した生活を送れるよう支援した。対象者はろう高齢者（高齢聴覚障害者）を中心とした聴覚障害者やその家族、手話関係者等である。平成30年度に実施した「ろう高齢者の集い」事業の概要は次のとおりである。

平成30年10月29日（月）、第14回「岡山県ろう高齢者のつどい」を岡山県聴覚障害者センター研修室で開催した。午前11時から各支部の情報交換を行い、午後から宮地勇氏を招いて「終活でたいせつなことは？楽しく笑って生きていこう！！」をテーマに講演会を行った。各支部の情報交換では今後の活動の参考になり、有意義な研修会となった。参加は協会の機関紙やホームページで一般に呼びかけ、各支部を通して協会会員外のろう高齢者（高齢聴覚障害者）にも呼びかけを行った。当日は、ろう高齢者を中心に、手話サークルの方々や家族の方など、24名が参加した。

事業実施のための財源 共同募金配分金（社会福祉法人岡山県共同募金会）を充当した。

（2）聴覚障害者フォーラム事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」から共同募金配分金を受けて聴覚障害者の啓発を目的とした聴覚障害者フォーラム事業を実施した。

内容に応じて、「ろうあ運動フォーラム」「聴覚障害者労働問題フォーラム」「聴覚障害者フォーラム」として開催している。

一般財団法人全日本ろうあ連盟や公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会と同じく連盟に加盟している各都道府県団体で活動されている方による講演を行うとともに、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の役員、会員の聴覚障害者や、手話通訳者、手話サークル会員などの関係者、その他テーマに興味を持つ方々による意見交換を行

い、今後の活動方針を話した。

平成30年度に実施した「聴覚障害者フォーラム」の概要は次のとおりである。

平成30年12月9日（日）、聴覚障害者センターで開催した。午後1時から「手話言語条例とろう教育～こめっこについて」をテーマに公益社団法人大阪聴力障害者協会事務局長長宗政男氏を招いて講演会を行った。大阪府手話言語条例の取り組みの経過や事業内容、今後の課題について学習した。参加は協会の機関紙やホームページで一般社会に呼びかけ、当日は聴覚障害者、手話通訳者、手話サークルの方々など27名が参加。聴覚障害者の福祉向上に向けて討議し、意見発表、情報交換等を行った。

事業実施のための財源 共同募金配分金（社会福祉法人岡山県共同募金会）等を充当した。

（3）聴覚障害者地域支援センター「ともろう・はうす」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、会員からの寄付金及び指定正味財産を充当し、聴覚障害者地域支援センター事業「ともろう・はうす」を運営し事業を実施した。

平成28年度に新事業「ともろう・はうす」を開所し運営を開始した。

「ともろう・はうす」は、聴覚障害者の様々な相談に応じると共に、日常生活に必要な情報提供を行い、生活向上のための学習、創作、調理実習、社会見学等交流の場を提供し、地域で豊かな暮らしと聴覚障害者の社会参加の促進に努めた。

平成28年7月3日に正式開所し、「ともろう・はうす」の運営を開始した。開所当初は、週1回（月曜日）、11月から週2回（月曜日、土曜日）に運営した。

利用者は、聴覚障害者674名、健聴者332名、合計1006名となった。

倉敷市内の協会会員を中心に活動し、岡山県内の聴覚障害者、手話関係者などが集い、バーベキュー、クリスマス交流会等を実施し、交流を深めた。また、参加者が得意とする作品作りを行った。参加者は協会の機関紙やホームページで一般に呼びかけ、各支部を通して協会会員外の聴覚障害者にも呼びかけを行った。

事業実施のための財源 会員からの寄付金及び指定正味財産を充当した。

6. 映画上映事業（公6）

聴覚障害者についての理解や啓発と手話の普及を図るために事業を実施しているものの、平成30年度は上映を希望する団体がなかったため、実施していない。

7. 岡山県聴覚障害者センター管理運営事業（公7）

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、聴覚障害者の社会参加と自立促進のため、独自事業として手話通訳者の養成・派遣を中心に組み立て、それをさらに拡充するために岡山県聴覚障害者センターの指定管理を受け、効率的に各事業を実施した。岡山県と公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会とは岡山県聴覚障害者センターの管理に関する包括協定書及び年度協定書を結び、以下の事業を行った。なお、管理運営にあたっては、岡山県聴覚障害者センター運営会議において聴覚障害者の視点を生かすことを努めた。

（1）手話通訳者養成事業

1. 目的

手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能なる者に、身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務、手話通訳に必要な語彙や手話通訳表現技術等の指導を行うことにより、手話通訳者を養成し、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

2. 対象

聴覚障害者等の福祉に理解と熱意を有し、手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能なる程度の者を対象に公募した。

3. 方法

厚生労働省通知の「手話奉仕員及び手話通訳者の養成カリキュラム」に則り、「基本課程」2講座（42時間）「応用課程」（42時間）「実践課程」（24時間）の3課程を設けた。身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務を理解させ、手話通訳に必要な手話語彙や手話通訳表現技術等の指導を行った。

4. 平成30年度実績

①手話通訳者養成講座の開催

講座	回数	修了者数	開催地
基本課程Ⅰ	20	18人	岡山市
基本課程Ⅱ	28	17人	玉野市
応用課程Ⅰ	21	21人	岡山市
応用課程Ⅱ	28	8人	井原市
実践課程	12	6人	岡山市

②平成30年度岡山県手話通訳者登録試験【手話通訳者全国統一試験】の実施

- ・実施年月日 平成30年12月1日（土）
 - ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
- 受験者数 34名
合格者数 7名

岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県手話通訳問題研究会及び岡山県手話通訳士協会の協力を得て実施委員会を設置し実施した。合格者について本人の承諾を得て岡山県認定手話通訳者として7名登録した。

③手話講座指導者の養成のための講座への派遣

- ・手話通訳者養成担当講師連続講座 5名派遣

④県登録手話通訳者を対象として頸肩腕症候群健康診断を実施した。

- ・対象：岡山県登録手話通訳者
 - 一次健診 問診票による健診 98名受診
 - 二次健診 医師による健診 20名受診
- 医師：玉島協同病院 道端達也医師

(2) 手話通訳士養成事業

1. 目的

裁判員制度の発足、政見放送への手話通訳導入の拡大などにより、手話通訳者により高い専門性を持った人材の確保が求められており、登録手話通訳者を対象とした研修を行い、手話通訳士を養成するとともに手話通訳士を対象とした現任研修を実施する。

2. 対象

- ・手話通訳士養成研修 登録手話通訳者
- ・手話通訳士現任研修 手話通訳士
- ・指導者養成研修 講師予定者

3. 方法

- ・手話通訳士養成研修 登録手話通訳者が手話通訳士の資格取得に向けた知識・技能の習得を図るため研修を実施した。
- ・手話通訳士現任研修 手話通訳士の知識・技能の向上を図るため、現任研修を実施した。
- ・指導者養成研修 手話通訳士養成研修の講師を確保するため、全国手話研修センター（京都市）が実施する講師研修会へ講師予定者を派遣した。

4. 平成30年度実績

①【手話通訳士養成研修】

- ・実施年月日 平成30年5月12日～9月16日（9回）
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
修了者 0名

②【手話通訳士現任研修】

- ・実施年月日 平成30年5月12日～9月16日（3回）
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
修了者 4名

③【指導者養成研修】

- ・実施年月日 平成31年3月30日（1回）
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
修了者 15名

④【手話通訳士養成・現任研修派遣】

現任研修

- ・実施年月日 平成30年10月26日～10月27日（2日）
- ・実施場所 全国手話研修センター
修了者 2名
- ・実施年月日 平成30年10月28日（1日）
- ・実施場所 全国手話研修センター
修了者 4名

5. 第30回手話通訳技能認定試験（全国手話通訳士試験）

- ・実施年月日 平成30年10月6日～10月7日
受験者数 13名
合格者 2名

6. その他

実施方法については、岡山県聴覚障害者センター、岡山県聴覚障害者福祉協会及び岡山県手話通訳士協会が事業実施のための委員会を設立して決定した。

(3) 要約筆記養成事業

1. 目的

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対して、手話取得の困難な中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの手段としての要約筆記の指導を行うことにより、高い専門性をもった要約筆記者の養成を行う。

2. 要約筆記者養成講座

- ・実施年月日 平成30年6月3日～12月9日（17回）岡山市
- ・受講者数 25名
- ・修了者 15名（3名登録）

3. 全国統一要約筆記者認定試験（要約筆記者登録試験）

- ・実施年月日 平成31年2月17日（日）
- ・受験者数 25名
- ・合格者 3名

4. 要約筆記者指導者養成研修への派遣

（基礎研修コース）

平成30年7月6日～7月8日	1人	東京都
平成30年8月3日～8月5日	1人	東京都
平成30年8月31日～9月2日	1人	東京都

（ステップアップ研修）

平成30年10月12日～10月14日	1人	東京都
平成30年11月16日～11月18日	2人	東京都

（4）手話通訳者設置事業

1. 目的

身体障害者の福祉に理解と熱意を有する手話通訳者を設置し、聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者（以下「聴覚障害者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を推進し、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

2. 内容

センターに手話通訳者3名を配置

3 主な業務

- ①病気や交通事故など緊急時の手話通訳業務
- ②きらめきプラザ内での手話通訳業務
- ③ろう者団体の要請による手話通訳業務
- ④聴覚障害者の生活相談業務
- ⑤市町村手話通訳者派遣及び各種団体手話通訳者派遣のコーディネート業務
- ⑥その他

（5）意思疎通支援者派遣連絡調整事業（連絡調整）

1. 目的

意思疎通支援を行う者の派遣に係る市町村相互間の連絡調整等広域的な対応を行い聴覚障害者の福祉増進を図る。

2. 対象 市町村

3. 平成30年度実績（年間派遣数）

手話通訳派遣について、市町村と委託契約を結び、広域派遣コーディネートを行った。

- ・広域派遣数 310件 324人
- ・同一市町村派遣 107件 130人

(6) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業 (派遣)

1. 目的

専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】

- ・手話通訳者派遣数 16件 28人
- ・要約筆記者派遣数 6件 24人

【岡山県難聴者協会】

- ・手話通訳者派遣数 0件 0人
- ・要約筆記者派遣数 13件 50人

【その他の団体】

- ・手話通訳者派遣数 3件 5人
- ・要約筆記者派遣数 1件 5人

3. 団体別派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】(手話通訳者) ※ () は要約筆記者で外数

	開催年月日	会議・催事名	派遣人数
1	4月2日	青鳥理容文化会定期総会	1
2	4月15日	女性部定期総会	2
3	6月17日	式典・ミニ報告会	3(5)
4	6月17日	社員総会	2
5	7月14日	中国地区合同手話研修会 開会式・記念講演	3(5)
6	7月15日	中国地区合同手話研修会 全体会・引継ぎ式	2(4)
7	7月23日	青鳥理容文化会 講演会	2(3)
8	10月21日	県民ふれあい手話まつり 開会・式典	3(3)
9	10月21日	県民ふれあい手話まつり 閉会・引継ぎ式	2
10	11月18日	岡山聾学校創立110周年記念同窓会総会・講演会	2(4)
11	12月9日	手話言語フォーラム	3
12	H31.3月1日	岡山県身体障害者福祉連合会 女性部研修会	2
13	H31.3月1日	岡山県身体障害者福祉連合会 講演会	2

【岡山県難聴者協会】(要約筆記者)

事業運営会議・講演会などを開催し、要約筆記者13件50名派遣

【その他の団体】(手話通訳者・要約筆記者)

定期総会などを開催し、手話通訳者3件5名(要約筆記者1件5名)派遣

(7) 自立支援拠点活動支援事業

1. 目的 難聴者、ろうあ者等の聴覚障害者の福祉増進並びに自立支援を行う拠点として設置されている聴覚障害者センターが中心となって、各種講習会等の事業を行い、生活文化の向上と社会参加の促進を図る。
2. 対象 聴覚障害者（ろう者、中途失聴者、難聴者）
3. 方法 県内広範に会場を設け、講習会や講座を実施した。
4. 自立支援拠点活動支援のための講座
 - ①一般講座 12回 参加者 271名
 - ②難聴者のための手話教室 12回 参加者 186名
5. 自立支援拠点活動支援のための講座（内訳）

【ろうあ者対象の講演会等】

日 時	講座等名称	開催場所	人数
4月15日	乳ガン検診の大切さをどこまでしていますか？	岡山市	29
6月11日	笑いヨガ体験講座	玉野市	13
6月29日	詐欺被害防止について	岡山市	27
8月5日	エンディングノート学習会	津山市	23
9月1日	聞こえの相談会（県難協）	高梁市	(14)
10月21日	聞こえの相談会（県難協）	岡山市	24
10月28日	電話リレーサービス学習会	岡山市	10
11月18日	加齢性の難聴について（県難協）	岡山市	(48)
11月25日	終活について	倉敷市	23
12月3日	手話が語る福祉～聴覚障害者と歩んだ25年～	岡山市	50
12月3日	笑いヨガについて	赤磐市	6
12月10日	運転免許特定任意講習会	岡山市	4

【中途失聴者・難聴者対象の講習会等】

開催	内容	人数	会場
(月1回)	難聴者のための手話教室	186	岡山市

(8) 手話入り映像ライブラリー等貸出事業

1. 目的

映像等に手話、字幕を挿入したビデオ（DVD）の貸出を行うことにより、聴覚障害者に対する情報提供に資する。

2. 映像ライブラリー（手話、字幕付き）の貸出

・利用者数 96人 215本

3. 手話学習ビデオ・書籍の貸出

・利用者数 114人 216本

4. ビデオ等保有状況

- ・VHS 4, 153本 (平成30年受け入れ状況・・・0本)
- ・DVD 694本 (平成30年受け入れ状況・・・21本)

(9) 聴覚障害者コミュニケーション機器貸出事業

1. 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助努力を助長するため、地域における各種大会行事等に聴覚障害者コミュニケーション機器を貸し出すことにより、聴覚障害者に対する理解と地域ボランティアの拡充を図り、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間の利用状況

- ・利用者件数 477件 142人
(プロジェクター・パソコン・ビデオデッキ・マイク等)

(10) 聴覚障害者関係地域ボランティア研修事業

1. 目的

手話・要約筆記に係る地域ボランティアの養成及び活動の活性化を進めるために、手話通訳者及び要約筆記者に対し研修を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 研修会

	年 月 日	内 容	対 象
①	平成30年 6月24日(日)	◇事例検討 ・通訳者が通訳をして感じたこと、考えたこと ・聴覚障害者が通訳を利用して感じたこと	手話通訳者 ※参加者 57名
②	平成31年 2月24日(日)	◇実技 読みとり、聞きとり通訳 ◇講演「聴覚障害者と共に」 講師 あいち聴覚障害者センター 前田 定幸氏	手話通訳者 ※参加者 63名
③	平成30年 4月21日(土)	◇講演「言語聴覚士の仕事について -聴覚障害分野を中心に-」 講師 藤本耳鼻咽喉科クリニック 言語聴覚室 室長 森 壽子氏	要約筆記者 ※参加者 51名
④	平成31年 3月9日(土)	◇講演「認知症について」 講師 岡山県保健福祉部長寿社会課 副参事 池島 由利子氏 ◇学習「要約筆記者としての専門性」	要約筆記者 ※参加者 61名

(1 1) 災害救援専門ボランティア研修事業

1. 目的

県が登録している災害救援専門ボランティア（手話通訳及び要約筆記者等の分野）に係る専門的な技術のレベルアップやボランティア意識の向上を図る。

2. 研修会

	年 月 日	内 容
①	平成30年 9月2日(日)	◇講演「大雨災害から身を守る」 講師 岡山地方気象台 次長 濱子 訓志氏 ○参加者 88名
②	平成31年 1月13日(日)	◇講義「あのと、私たちの身に何が起こったのか」 —平成30年7月西日本豪雨— 講師 坂口環氏、白神百合子氏、佐々木嘉子氏 ○参加者 80名

(1 2) 聴覚障害者の相談業務

1. 目的

聴覚障害者及びその家族等の相談に応じ、必要な助言・情報提供・適切な専門機関への紹介等を行う。

2. 年間相談件数（ろう者・難聴者・親族・健聴者等）

・相談件数 308件 相談者数 316人

(1 3) 聴覚障害者用の自主制作映画等の制作

1. 目的 聴覚障害者に対する情報提供に資するため、自主制作映画等を作成し、福祉の増進を図る。

2. 自主ビデオの作成

◇制作ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経 過
①	動画ブログ「ヒロヒゲの手話語り」(含む番外編)	339 話掲載
②	文化・芸術の創造拠点ルネスホール (目で聴くテレビ)	完 成
③	岡山県消防防災航空センター (仮称)	編集中
④	でんしゃ見見録	企画中
⑤	手話『岡山』の語源から早島をひも解け1 (目で聴くテレビ)	完 成
⑥	手話『岡山』の語源から早島をひも解け2 (目で聴くテレビ)	完 成
⑦	手話『岡山』の語源から早島をひも解け3 (目で聴くテレビ)	完 成
⑧	ヒロヒゲの手話語り (24巻～26巻)	完 成

◇字幕挿入ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経過
①	閑谷学校と論語（文化講演会）	制作中
②	宇喜多堤と児島湾干拓～往来浪漫はやしま物語～	制作中
③	岡山県人物シリーズ③内田百聞	制作中

(3) ビデオ等の保有状況

	H29 末 保有数	H30 受け入れ状況							小計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
DVD	673	0	0	0	0	0	4	4		
VHS	4153	0	0	0	0	0	0	0		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	累計	
DVD		0	0	4	0	0	13	21	694	
VHS		0	0	0	0	0	0	0	4153	

(14) その他の事業

聴覚障害者センターの管理に関する年度協定に規定する「その他聴覚障害者の福祉向上のための事業」であり、センターで独自に企画した事業。

1. 広報活動の充実

(1) 目的

広報誌「センターだより」の発行と公式サイト（ホームページ）の公開により、聴覚障害者に様々な情報を提供するとともに、好機に広報媒体に情報発信し、センターの周知と利用促進を図る。

(2) 広報誌「センターだより」の発行

- ① 第52号発行・郵送配布・・・6月
- ② 第53号発行・郵送配布・・・9月
- ③ 第54号発行・郵送配布・・・12月
- ④ 第55号発行・郵送配布・・・3月

(3) ホームページの公開

項目	内容	
最終更新日	平成31年4月1日（通常週2回更新）	
アクセス数 （平成31年3月）	TOPページ	1,183（累計20,192）（平成29年4月1日～集計）
	Youtube	11,593（累計160,148）（平成29年4月1日～集計）

ホームページ掲載内容	<p>[MENU] TOP、ご案内（概要・沿革、施設・交通案内、各部屋紹介、センター運営、センター事業、センターだより）、映画・動画（字幕付き映画、手話語り、デジタル岡山大百科）、貸出・予約（利用登録について、ビデオ、DVD、コミュニケーション機器、生活応援グッズ、研修室・会議室）、通訳派遣、各種講座（聴覚障害者のための講座、難聴者のための手話教室、手話通訳・要約筆記講座）、その他（更新情報、FAQ・よくある質問、お問合せ、リンク、サイトマップ）</p>
------------	---

2. 手話通訳者派遣のコーディネート

(1) 目的

聴覚障害者に対する情報保障を推進するため、各種団体の要請を受け、県下全域にわたって手話通訳者派遣のコーディネートを行う。

(2) 年間派遣件数

団体派遣数 240件 447人

3. お昼休みのミニ手話教室

(1) 目的

きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員を対象に、簡単な手話の講習を継続的に行い、館内のコミュニケーション・バリアフリー化を進め、聴覚障害者の福祉増進を図る。

(2) 内容

- ①対象：きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員
- ②回数：月2回（第1，第3木曜日）
- ③場所：きらめきプラザ

4. みんながきらめく手話の会

(1) 目的

手話の講座を修了した人を対象に、手話を介して交流や学習をすることにより、手話によるコミュニケーション能力を高めるとともに、高いレベルの手話を学びたいという意欲を育てる。

(2) 内容

- ①対象：手話に興味がある人
 - ②回数：毎週木曜日
 - ③内容：手話を介した交流・学習会
- ※開催実施 48回 507人

5. 「しゅわ」の集い

(1) 目的

登録手話奉仕員を対象に研修を行い、奉仕員としてより手話に親しむとともに、ボランティアとして活動する意欲を高める。

(2) 実施状況

※開催実施 5回 36人

6. 手話通訳者の集い

(1) 目的

登録手話通訳者（登録後6年以内）を対象に研修を行い、通訳者としてより一層の手話技術の向上と通訳者として活動する意欲を高める。

(2) 実施状況

※開催実施 6回 46人

7. のびのび子どもひろば

(1) 目的

聴覚障害児と聞こえる子どもたちが一緒に活動する中で、聴覚障害について理解を深めるとともに楽しむことのできる場を設ける。

※開催状況：平成30年8月6日（月） 参加者数 54人

(2) 内容：絵本よみきかせ、ゲーム（おうちの人の手はどれだ？）、工作（ふねの温度計）、さかな釣り、コリントゲーム、つみき他

8. 災害対策本部

(1) 目的

- ① 災害発生時に災害に関する情報収集を行う。
- ② 災害発生時に聴覚障害者への救援支援活動等対応策を検討する。
- ③ 災害に備え、聴覚障害者の防災意識や災害対応能力の向上を図る。

(2) 災害対策本部の活動内容

項目	内容
(1) 構成	1 設立 平成20年4月「岡山県聴覚障害者災害対策本部」を設立 2 構成団体 ①岡山県聴覚障害者福祉協会 ②岡山県難聴者協会 ③ 岡山県手話通訳問題研究会 ④ 岡山県要約筆記団体連絡会 ⑤ 岡山県聴覚障害者センター
(2) 目的	1 県内で緊急災害が発生した際、情報収集、支援活動の検討を行う。 2 緊急災害の発生に備え、聴覚障害者の防災意識と災害対応能力の向上を

	<p>図る。</p>
(3) 活 動	<p>◇第1回災害対策本部会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成30年7月13日（金）13：30～15：14 ・議題：①情報交換（西日本豪雨による被災状況） ②今後の対応等 ③その他（防災に関する研修予定等） ・出席者：19名
	<p>◇第1回会議（研修会）・・・災害救援専門ボランティア研修会と共催（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「大雨災害から身を守る」 ・講師 岡山地方気象台 次長 濱子 訓志氏 ・報告 岡山県聴覚障害者災害対策本部会議の概要報告 ・意見交換 ○参会者：88名
	<p>◇第2回会議（研修会）・・・災害救援専門ボランティア研修会と共催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「あのと、私たちの身に何が起こったのか」 -平成30年7月西日本豪雨災害- ・講師 坂口環氏、白神百合子氏、佐々木嘉子氏 ○参会者：80名

9. ろう高齢者交流会

(1) 目的

日ごろ、人との交流が少ない高齢聴覚障害者が同じ障害の友人や青年、女性と楽しい一時を持つ機会を提供する。

(2) 活動の概要

- ①開催日時：平成30年12月16日（日）
- ②開催場所：きらめきプラザ 401会議室
- ③内 容：講演「わかりやすい介護保険制度とは」
- ④助 成：梶谷福祉基金
- ⑤参加者：53名

10. 中期目標の評価と見直し

(1) 目的

センターの各種事業の成果については、平成28年度に策定した第2期中期計画において設定した新たな評価指標に基づく事業評価を実施する。評価結果については、センター運営委員会、運営会議に報告し、外部評価も併せて行う。

なお、本計画は平成29年度から5ヵ年間の行動計画であるが、国の制度改正に伴い事業内容や財源に変更が生じた場合は、随時、見直しを行う。

(2) 平成29年度事業評価

(ア) 総合評価・・・2.8

(イ) 公表方法

◇第1回センター指定管理者運営委員会 (H30年5月26日(土)開催)

◇センター運営会議 (H31年3月開催予定)

◇センターホームページ (H30年8月16日掲載)

(3) 中期目標の見直し

中期目標に基づき事業評価を行い、実績を検証し、次期中期目標の策定に生かす。

1.1. 学校教育との連携

(1) 目的

県内の小中学生等を対象に、総合的な学習の時間等を活用して、聴覚障害者センターで聴覚障害者に対する理解を深めるため、体験学習を行う。

(2) 実施回数

回数	年月日	学校名	参加者数	備考
第1回	H30.4.25	中国短期大学	8	出前講座
第2回	H30.5.31	岡山市立伊島小学校	74	
第3回	H30.6.1	岡山市立伊島小学校	78	
第4回	H30.6.7	岡山市立城東台小学校	44	出前講座
第5回	H30.7.5	岡山県立大学	2	
第6回	H30.10.20	岡山市立城東台小学校	47	出前講座
第7回	H31.2.28	岡山県立岡山豊学校	3	
小計			256	

1.2. 関係機関や地域社会との連携

(1) 目的

聴覚センター単独での事業運営には限界があるため、地域社会や他の公共施設、団体との相互連携活動を推進し、事業内容の充実と多様化を図る。また、文化講演会などの開催を検討する。

(2) 関係機関や地域社会との連携

年月日	連携団体名	連携事業内容	備考
H30.4.27	岡山県消防防災航空センター	聴覚障害理解等	5名
H30.6.14	岡山県立記録資料館	手話通訳者の集い実践場面	6名
H30.6.21	岡山県消防防災航空センター	職員のための手話教室(取材)	6名

H30.9.27	岡山県消防防災航空センター	取材	—
H31.3.6	岡山県消防防災航空センター	取材	—
H31.3.8	岡山県消防防災航空センター	取材	—

(3) 文化講演会の実施

- ① 開催日時：平成30年8月19日（日）13：30～
- ② 開催場所：きらめきプラザ 401会議室
- ③ 内 容：岡山が誇る明治の芸術家たち
講師：妹尾 克己氏（元岡山県立美術館 学芸課長）
- ④ 参加者：48名

13. 聴覚障害者生活支援グッズの貸出

(1) 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助を助長するため、生活応援グッズを貸し出すことにより、聴覚障害者の日常生活の円滑化を図り、聴覚障害者の福祉増進を図る。

(2) 年間の利用状況

利用件数 17件 7人

14. 岡山県青少年総合相談センター事例研修会

(1) 目的

きらめきプラザ内の各相談機関の連携並びに相談員の資質向上を図る。

(2) 実施回数 11回 14人

15. 全国聴覚障害者情報提供施設協議会関係事業への協力

(1) 目的

全国聴覚障害者情報提供施設協議会への協力の一環として、職員の専門委員会への就任、全国レベルの研修会の開催など、事業の円滑な推進に貢献する。

(2) 手話通訳事業に関する専門委員会への出席

① 第1回

- ・開催日：平成30年4月5日（木）
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

② 第2回

- ・開催日：平成30年10月19日（金）
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

③ 第3回

- ・開催日：平成31年2月7日（木）
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

(3) 情報メディアに関する専門委員会への出席

① 第1回

- ・開催日：平成30年7月18日（水）・19日（木）
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

② 第2回

- ・開催日：平成30年9月6日（木）・7日（金）
- ・場 所：東京都聴力障害情報文化センター

③ 第3回

- ・開催日：平成30年10月30日（火）・31日（水）
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

(4) コミュニケーション支援事業担当者研修会の運営参加

- ・開催日：平成30年7月25日（水）～27日（金）
- ・場 所：京都市（京都市聴覚言語障害センター）
- ・内 容：講義①「ピアスーパービジョンⅡ」 講師：倉知 延章氏
講義②「電話リレーサービスについて」 講師：小竹 安治氏
講義③「対人援助としての手話通訳」 講師：小椋 英子氏
講義④「社会資源とネットワーク」 講師：稲 淳子氏
- ・参加者：48名

(5) 平成30年度聴覚障害者向けソフト制作担当者職員研修会の開催

- ・開催日：平成30年11月15日（木）～17日（土）
- ・場 所：長崎県聴覚障害者情報センター
- ・内 容：DAISYの取り組み、ICTの取り組み（石川県）、映像制作の取り組み（長崎県）コース別研修、グループ討議等
- ・参加者：35名

(6) ブロック担当者会議

- ・開催日：平成30年11月29日（木）
- ・場 所：岡山県聴覚障害者センター
- ・内 容：「西日本豪雨等、災害時の対応事例」事例発表、事例に基づく意見交換
- ・参加者：15名

16. 研修会への参加

(1) 目的

センター事業の円滑な実施のため、職員の資質の向上を目指す。

(2) 要約筆記者養成テキスト改訂に関する説明会

- ・開催日：平成30年4月29日(日)
- ・場 所：広島市（広島市総合福祉センター）

(3) ブラッシュアップ講座

- ・開催日：平成30年5月27日(日)
- ・場 所：岡山県聴覚障害者センター
- ・内 容：手話通訳者の倫理・在り方等

(4) 要約筆記者指導者養成研修（ステップアップコース）再掲

- ・開催日：平成30年11月16日(金)～18日(土)
- ・場 所：東京都（全国障害者総合福祉センター）

(5) 難聴事業にかかわる職員対象課題検討会

- ・開催日：平成31年3月1日(金)、2日(土)
- ・場 所：神戸市（兵庫県立聴覚障害者情報センター）
- ・内 容：課題検討、意見交換、コミュニケーションアプリについて
- ・主 催：兵庫県聴覚障害者情報センター（全国聴覚障害者情報提供施設協議会）

17. 指定管理者運営委員会の開催

平成17年のセンター設置以来、センターの適正な運営を図るため、岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県難聴者協会からそれぞれ選出された7名の委員で岡山県聴覚障害者センター指定管理運営委員会を構成し、センターの運営について協議する。

指定管理者運営委員会の開催実施 6回

事業実施のための財源 上記の1から17までの事業は岡山県聴覚障害者センターの運営に係る岡山県からの指定管理料、受講料等を充当した。

(15) 電話リレーサービス提供事業

1. 目的

聴覚障害者が必要に応じて健聴者と電話できるように、通訳者が間に入って通訳するサービスの提供体制を作ることで、聴覚障害者の福祉の促進及び地域生活における自立が高まることを目的に電話リレーサービスの提供を行う。

2. 対象

利用登録を行った聴覚障害者を対象に電話リレーサービスを提供する。

3. 実施状況

新たに常勤職員1名、非常勤職員3名を採用し、平成30年9月5日より、電話リレーサービスの提供を開始した。

また、電話リレーサービスの普及・拡大を目的に、以下の説明会及び学習会を行った。

(1) 電話リレーサービス登録説明会

- ① 実施主体 岡山県聴覚障害者センター
- ② 実施年月日 (ア) 平成30年10月1日(月) 10:00~12:00
(イ) 平成30年10月6日(土) 13:30~15:30
- ③ 参加者 (ア) 20名 (イ) 29名

(2) 電話リレーサービス学習会

- ① 実施主体 岡山県聴覚障害者センター(自立支援拠点活動支援事業)
- ② 実施年月日 平成30年10月28日(日)
- ③ 参加者 10名

(3) 電話リレーサービス普及啓発のための学習会

- ① 実施主体 岡山県聴覚障害者福祉協会、全日本ろうあ連盟
- ② 実施年月日 平成30年12月16日(日) 13:00~16:30
- ③ 参加者 約100名(中国ブロックの各聴覚障害者協会、手話関係者及び企業・官公庁関係者)

事業実施のための財源は、厚労省の「高度情報通信等福祉事業」の国庫補助金を充当した。

II 収益事業

(1) 出版物販売(収1)

一般財団法人全日本ろうあ連盟から販売されている書籍等及び公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が独自作成した書籍等を事務所で常時販売し、公益社団法人岡山県聴覚障害者主催の社員総会やふれあい手話まつり及び岡山県手話通訳問題研究集会や耳の日の集いの共催事業時に販売を行った。

(2) その他の収益事業

① コピー機器の使用料

各種イベントで使われる拡大コピー機の印刷の使用料の徴収を行った。

② 事務手数料の徴収

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の支部行事や会員がスポーツ大会に参加す

る際の事務手続きのための手数料を徴収した。

その他

(1) 保健体育に関する事業（収2）

聴覚障害者の心身の健康とスポーツ活動の推進を図るため、体育部の中に各種運動部を設け、全国・中国地区・岡山県等のスポーツ大会に選手派遣するとともに、各種委員会に出席した。

日 程	内 容	会 場
4月28日・5月13日・ 5月19日	第18回岡山県障害者スポーツ大会	岡山市 総社市
5月19日～5月20日	第10回中国・四国地区ろうあ者体育大会	香川県
9月20日～9月23日	第52回全国ろうあ者体育大会	埼玉県
10月13日～10月15日	第18回全国障害者スポーツ大会	福井県

(2) 全国手話検定試験実施

10月13日～14日 第13回全国手話検定試験 岡山市
試験 5級・4級・3級・2級

(3) 聴覚障害者の福利厚生に関する事業

日 程	内 容	会 場
3月3日	2018年 耳の日の集い	岡山市
6月17日	第7回公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会社員総会及び第7回公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会福祉大会	岡山市
10月29日	第14回岡山県高齢者のつどい	岡山市
10月21日	第34回県民ふれあい手話まつり	岡山市
12月9日	手話言語フォーラム研修会	岡山市

(4) 関係官庁及び関係団体との連絡と協力に関する事業

ア. 岡山県・岡山県身体障害者福祉連合会等の会議への出席

イ. 全日本ろうあ連盟関係その他の各種行事、研修会等への派遣実施

日 程	内 容	会 場
6月7日～6月10日	第66回全国ろうあ者大会	大阪府
9月6日～9月8日	第29回全国専従職員研修会 出版物対策研究会議	栃木県
9月28日～9月30日	第30回全国ろうあ高齢者大会 第32回全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会 第9回全国ろうあ高齢者グラウンド・ゴルフ大会	鹿児島県

10月26日～10月28日	第48回全国ろうあ女性集会	島根県
11月23日～11月25日	第52回全国ろうあ青年研究討論会	秋田県
2019年1月25日～ 1月26日	第32回全国ろうあ者相談研修会・ 第23回全国職業安定所手話協力員等研修会 兼ろうあ者労働問題フォーラム	岐阜県

(5) 中国地区ろうあ連盟関係の各種行事や研修会への派遣

日 程	内 容	会 場
7月14日～7月15日	第26回中国地区合同手話研修会	岡山県
7月21日～7月22日	第42回中国地区ろうあ女性集会	広島県
9月16日	第23回中国地区ろう文化学習会	島根県
11月24日～11月25日	中国地区ろうあ連盟秋の集い	山口県

(6) 手話関係団体との連携・協力

岡山県手話通訳問題研究会と岡山県手話通訳士協会との連携を深めるため、連絡・会議・研修会を開催した。

ア. 三団体代表者会議 月1回開催

イ. 聴覚障害者の参政権をすすめる会

ウ. 手話放送委員会

エ. 手話言語法対策推進委員会

オ. 各種行事の連絡会議、研修会

県内の手話サークル会員・手話通訳者・聴覚障害者が一堂に集まり、手話・聴覚障害者問題について研究・意見交換を行い、お互いの資質向上を図った。

開催実施

日 程	内 容	会 場
7月14日～7月15日	第33回岡山県手話通訳問題研究集会	岡山市
8月17日～8月19日	第51回全国手話通訳問題研究集会	沖縄市

(7) 聴覚障害者関係団体との連携・協力

岡山県手話通訳問題研究会、公益社団法人岡山県難聴者協会、岡山県要約筆記団体連絡会、岡山県聴覚障害者の親の会、岡山県難聴者を持つ親の会、岡山県立岡山聾学校同窓会、岡山県立岡山聾学校PTA、内山下こだまの会等との連携を深めるため、会議を開催した。

ア. 聴覚障害者の参政権をすすめる会

イ. 手話言語法対策推進委員会

ウ. 東日本大震災聴覚障害者救援岡山県本部

エ. 岡山県聴覚障害者相談員連絡協議会

(8) その他、目的達成に必要と認める事業

① 岡山県保健福祉部障害福祉課と随時意見交換を行い、お互いの意志疎通を図ると

共に、福祉制度の充実を目指した。

② 各専門部と各支部の自主的な活動及び運営への援助を行った。

ア. 各専門部の自主的な活動及び運営への援助

本協会組織の中に、組織部・手話対策部・福祉対策部・文化部・機関紙部があり、それぞれの事業を援助。

イ. 各支部の自主的な活動及び運営への援助

7支部（岡山・倉敷・玉野・井原・浅口・東備・美作）があり、必要に応じて各支部の事業を援助した。

③ 理事業

総会・三団体会議・理事会・各専門委員会等を開催し、本協会の運営と事業の推進を図った。

ア. 総会

イ. 三役会議

ウ. 理事会

エ. 各種専門委員会